

1. 科目名 (単位数)	発達心理学 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2342
2. 授業担当教員	麻生 奈央子		SSMP2342
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループ討議・発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	今日の発達心理学は、人間の受精から死までを扱う「生涯発達心理学」を意味する。本講義では、最初に発達の全体的なプロセスやメカニズムについて、概観する。そして、身体、認知、感情、言語、社会性など、それぞれの機能がどのように発達していくか、考えたい。また、現代の少子高齢化社会や情報社会特有の問題と発達との関係、幼児や児童、生徒の心身の発達を踏まえて、主体的な学びをさせる指導法、関わり方についても講義、ディスカッション等を行いながら、学習を進めていく。		
8. 学習目標	(1) 発達の過程および特徴を理解するための基本的概念および代表的な理論を理解し、説明ができる。 (2) 発達の機能的側面から、そのメカニズムを理解することにより、幼児や児童・生徒の学習を支える指導の基本的知識と視点を持ち、さまざまな発達の問題に対処できる。 (3) 学習内容を自分の発達問題として捉え、応用できるようにすることを通して、幼児や児童・生徒の主体的な学びを保障するあり方を体得できる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	事前学習において、授業で取り扱うトピックに関し、自身の経験・体験も踏まえ思考を巡らせておくこと。これは、各発達段階において、自身の発達や親、祖父母の世代に目を向け、日常の振り返りと学習内容の結びつきを確認するためである。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 下山晴彦・佐藤隆夫・本郷一夫 (監修) 林創 (編著) 『公認心理師スタンダードテキスト 1 2 発達心理学』 ミネルヴァ書房、2019 【参考書】 林洋一 (監修) 史上最強図解 よくわかる発達心理学 ナツメ社、2010 *その他、必要に応じて適宜資料を配布する		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 (1) 発達の過程および特徴を理解するための基本的概念および代表的な理論を理解し、説明ができる。 (2) 発達の機能的側面から、そのメカニズムを理解することにより、幼児や児童・生徒の学習を支える指導の基本的知識と視点を持ち、さまざまな発達の問題に対処できる。 (3) 学習内容を自分の発達問題として捉え、応用できるようにすることを通して、幼児や児童・生徒の主体的な学びを保障するあり方を体得できる。 ○評定の方法 ・試験・小テスト等 40% ・レポート等課題研究 20% ・平常点 (授業態度、ディスカッションへの参加、発表、発言) 40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生への メッセージ	発達心理学は、人の成長・変化を時間軸で見えていく視点であり、人間のさまざまな問題を捉える際に必須の知識となります。ライフサイクルの各段階における発達課題、認知機能及び感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達など、さまざまな点から子どもが大人になっていく過程を理解しようと努めてください。また、発達理論を参照とし、自分自身のこれまでにこれからのことについて考えてみてください。適宜グループワークなどを行い、講義内容について疑問を持ち、自分で考え質問するなど、主体的に参加することを求めます。そのため、講義や他の人に迷惑をかけるような行為、身勝手なふるまいなどは厳しく指導します。成績評価の 40% が平常点であり、授業態度によって単位取得ができない場合もあります。受講生の理解や授業の展開によって、授業内容の一部や順番に変更が生じる可能性があります。		
13. オフィスアワー	決定次第、通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション：発達心理学とは	事前学習	シラバスを一読する。第 1 章を読んでおく。
		事後学習	第 1 章を読んで復習する。
第 2 回	発達の生物学的基礎	事前学習	第 2 章を読んでおく。
		事後学習	第 2 章を読んで復習する。
第 3 回	感覚と運動の発達	事前学習	第 3 章を読んでおく。
		事後学習	第 3 章を読んで復習する。
第 4 回	アタッチメント (愛着) の発達	事前学習	第 4 章を読んでおく。
		事後学習	第 4 章を読んで復習する。
第 5 回	認知の発達	事前学習	第 5 章を読んでおく。
		事後学習	第 5 章を読んで復習する。
第 6 回	社会性の発達	事前学習	第 6 章を読んでおく。
		事後学習	第 6 章を読んで復習する。
第 7 回	感情と自己の発達	事前学習	第 7 章を読んでおく。
		事後学習	第 7 章を読んで復習する
第 8 回	遊びと対人関係の発達	事前学習	第 8 章を読んでおく。
		事後学習	第 8 章を読んで復習する。
第 9 回	言語と思考をめぐる発達	事前学習	第 9 章を読んでおく。
		事後学習	第 9 章を読んで復習する。
第 10 回	定型発達と非定型発達	事前学習	第 13 章を読んでおく、
		事後学習	第 13 章を読んで復習する。
第 11 回	青年期の発達	事前学習	第 10 章を読んでおく。
		事後学習	第 10 章を読んで復習する。

第12回	成人期の発達	事前学習	第11章を読んでおく。
		事後学習	第11章を読んで復習する。
第13回	老年期の発達	事前学習	第12章を読んでおく。
		事後学習	第12章を読んで復習する。
第14回	学生の視点から捉えた主体的な学びの演習・グループ・ディスカッションおよび発表	事前学習	これまでの学習内容の中から特に興味・関心を持ったテーマを選び、学生の視点からまとめ、発表し、グループディスカッションによる意見交換を行う。質疑応答にも備える。
		事後学習	グループの発表内容を振り返る。発達の本質について考察を深める。
第15回	全体のまとめ：小テスト	事前学習	授業内容を振り返り、教科書と講義内容をおさらいする。生涯発達の視点から主体的な学びとは何かを考える。
		事後学習	理解が不十分だった点を復習する。学びを今後の成長に活用する。